

## 獣医師

食肉衛生検査所  
後藤 愛美

●配属歴  
H30 現所属



### 現在の仕事

群馬県内の食肉処理施設や食鳥処理施設に赴き、検査員として、家畜（牛・豚）及び家禽（鶏）が食用に適しているか否かを1頭、1羽ごとに検査しています。

また、対米等輸出食肉認定施設において、施設構造や作業手順が輸出相手国との取り決めに適合しているかの監視・指導や、食肉輸出に必要な書類（衛生証明書）の発行業務等を行っています。

### 受験者へのメッセージ

獣医師の仕事というと、小動物や大動物の臨床獣医師が真っ先に浮かぶと思いますが、県獣医師も人々の生活に欠かすことができない、重要な仕事を担っています。みなさんも群馬県職員として一緒に働いてみませんか。

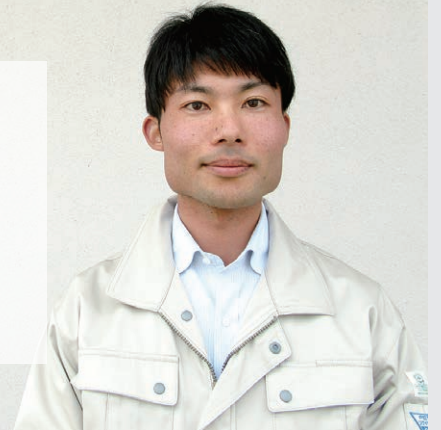


食の安全を守るため日々検査業務に取り組んでいます

## 獣医師

浅間家畜育成牧場  
清水 誠之

●配属歴  
H28 畜産試験場  
H29 現所属



### 現在の仕事

県内の酪農家から7カ月齢以上の健康な乳用育成牛を預かり、夏季は放牧、冬季は舎飼で飼養管理を行っています。主な仕事としては繁殖管理業務として、人工授精や受精卵移植を実施しており、受胎した牛は、分娩3カ月前になったら順次、農家へ帰します。

夏季は約500頭、冬季は約330頭の牛を飼育しており、特に夏季は広大な草地に放牧することで分娩に耐えられる足腰の丈夫な牛に育てています。

### 仕事の魅力・やりがい

県獣医師の魅力は、その業務が多岐にわたっており、異動によって新しい知識を得たり、幅広く経験を積めたりするところだと思います。

また、現在の業務は、農家から大切な財産である牛を預かるため責任は重いですが、育てた牛が立派な搾乳牛として活躍することを想像し、日々やりがいを持って仕事をしています。



直腸検査により子宮や卵巣の状態を調べます

## 福祉

中央児童相談所  
江原 昇汰

●配属歴  
H29 現所属



### 現在の仕事

家庭支援係において、日常生活で問題を抱える児童やその家庭の支援に係る相談に対応しています。

相談の内容は、例えば、親子間の問題や児童虐待、障害のある児童の育児のほか、児童の家出や非行など、多種多様です。そのような相談を保護者等から受け、学校や病院、警察などの関係機関との情報共有や協議によって密な連携を図り、児童と保護者がともに円滑な家庭生活が送れるよう家庭環境の援助を行っています。

### 受験者へのメッセージ

業務はやりがいだけではなく辛いこともあります。職場の温かい支援をいただきながら業務をやり遂げています。子どものために「なんとかしたい」という熱意と覚悟があれば、ぜひ福祉職を目指してください。



相談しやすい雰囲気づくりに努めています

## 心理

西部児童相談所  
阿佐美 由貴

●配属歴  
H27 東部児童相談所  
H30 現所属



### 現在の仕事

児童本人やその保護者から寄せられる、児童に関する相談の業務を行っています。内容は、障害相談や虐待対応、養育相談、非行相談等と多岐にわたります。

こうした相談のなかで、児童との面接や行動観察、心理検査等を通じて心理判定を行ったり、実際に支援として心理療法を行ったりしています。そうした関わりから、児童の支援について助言したり、児童が生活しやすくなる方法を一緒に考えたりして、生活支援につながるようにしています。

### 採用前と採用後のギャップ

公務員の仕事のイメージとして、黙々と業務に取り組む印象がありました。実際には、児童相談所の職員同士で連携しながら業務を進めており、何度も話し合いを行うなど、職場の雰囲気は活発です。業務内容から、堅い印象を持たれがちですが、職員は明るく、気さくな人が多いと思います。



検査をしながら児童の行動も観察します